

はるのおがわコミュニティパークトイレ



外観(空撮)

はるのおがわコミュニティパークトイレは、代々木公園と道を挟んだ場所に立地。色付きの瞬間調光ガラスにより、周囲の自然となじんだ色合いとなっている。同じ道沿いには色違いの代々木深町小公園トイレがある。



外観

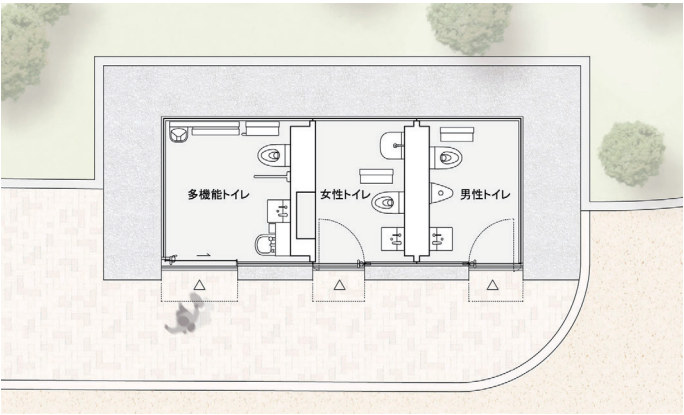
室内がきれいかどうか、誰かが隠れていないかわかるよう、使用していないとき透明な瞬間調光ガラスを外壁に使用。ショーウィンドウのように室内がよく見え、きれいに使おうと思わせるトイレとなっている。



外観(トイレ使用時)

瞬間調光ガラスにより、トイレに入室してカギを締めると不透明となり、外からは室内と利用者の姿は見えなくなる。曇った調光ガラスにより外から明確に使用中だとわかる。

図面



水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)は誰もが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである、はるのおがわコミュニティパークトイレは、代々木公園と道路を挟んだ向かい側に立地。公園内には、広場のほか、自然の中でアスレチックや水遊びなど自由に遊べるプレーパークがあり、子どもから大人まで、さまざまな利用者がいる公園のトイレ。公園トイレには見えない周囲の自然となじんだカラフルな外観。調光フィルムを貼ったガラス張りの建物は、公園のトイレに入るとき2つの心配事である「中がキレイかどうか」「中に誰も隠れていないか」をトイレに入る前に確認できる。そして夜には、美しい行灯のように公園を照らすトイレとなっている。

水まわりの特長

トイレは、左から多機能トイレ、女性トイレ、男性トイレ、3つの空間で構成されている。多機能トイレには、コンパクトオストメイトパック、ベビーシート、ベビーチェアを設置し、車いす使用者やオストメイト、乳幼児連れなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備。男女のトイレは通常の大便器ブースより大きく計画された余裕のある空間に、大便器と洗面器(男性トイレは小便器も)を備えた個室完結型トイレとなっている。すべての衛生器具は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用。壁掛大便器セット・フラッシュタンク式のタンク部分も鏡面仕上の壁内に納められている。また利用者の快適性に配慮し、すべての大便器にウォシュレットを設置している。

建築概要

名称	はるのおがわコミュニティパークトイレ
所在地	東京都渋谷区代々木5-68-1
施主	日本財団
設計	株式会社坂茂建築設計
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2020年7月
建築面積	14.16㎡
延床面積	14.16㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CS1
ウォシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPR
マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A
壁掛洗面器:LS721CM/台付自動水栓:TENA41A
水石けん入れ:TLK05202J/コンパクトオストメイトパック:UAS81RSB2NW
ベビーシート:YKA25R/ベビーチェア:YKA15R



外観(夜景)

夜はトイレが行灯のように公園を照らす。女性はもちろん、子どもや家族連れ、観光客にも安全を配慮したトイレとなっている。



外観
(夜景・トイレ使用時)

瞬間調光ガラスはカギがかかっている状態では通電していて透明だが、施錠すると電気が切れて不透明に変化する。そのため使用時に停電が起きても曇ったままとなる。通電時の消費電力は3.5W/㎡。



多機能トイレ

緑を基調とした空間。室内の壁は鏡となっており、周囲の自然を感じられる空間となっている。車いす使用者やオストメイト、乳幼児連れなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備。



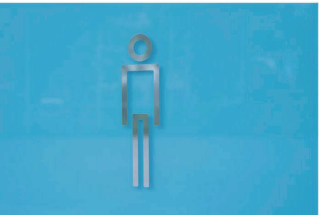
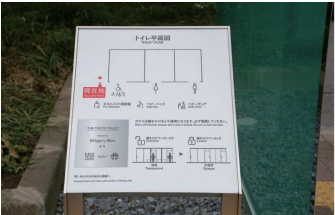
女性トイレ

黄色が基調の空間は、大便器と洗面器を備えた個室完結型。利用者の快適性に配慮し、洗面器には節水効果も図れる自動水栓と水せつけんを設置。またすべての大便器にウォシュレットを設置している。



男性トイレ

青を基調とした空間。すべての衛生器具は床の清掃性に優れた壁掛式を採用。大便器と小便器の両方を設置し、利用者は選んで使用することができる。



案内板・サイン



各トイレの入口には、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。ガラス面に取り付けられたサインは、カラーフィルムによってそれぞれ異なる印象を与えている。